

て感謝を申し上げたい。(ドナー登録者数等の詳細については、骨髄移植推進財団ホームページ (<http://www.jmdp.or.jp>) を参照されたい。)

骨髄バンクにより適合するドナー候補者が検索される率は、95.1% (平成23年実績。国内患者に限る。) に達したが、移植を希望し骨髄バンクに登録した年間患者数に対し、移植を受けられる率は、55.7% (同上) にとどまっております。今なお多くの患者が移植を待ち望んでいる状況である。同事業を円滑に推進するためには、引き続きドナー登録者の確保が重要となっている。各都道府県におかれては、従来より普及啓発活動等により同事業の推進にご協力いただいているところではあるが、骨髄バンク推進月間 (毎年10月) や関係者から構成される連絡協議会等を積極的に御活用いただき、一層の普及啓発等に御協力願いたい。

イ 平成22年10月より導入された末梢血幹細胞移植については、採取時のドナーへの全身麻酔が不要であること等から、ドナーと患者双方の選択肢が増えることとなり、より多くの方が移植の機会を得られるようになることが期待されている。

また、昨年10月からは「骨髄提供経験あり」というドナー要件を解除し、コーディネートを行っている。

(2) さい帯血移植対策について

さい帯血移植とは、分娩後、通常は廃棄されていた胎盤及びへその緒に含まれているさい帯血を採取し、その中に含まれている造血幹細胞を移植して、造血機能を再生させる方法であり、白血病や再生不良性貧血等の血液疾患の有効な治療法として行われている。我が国では日本さい帯血バンクネットワークに加入しているさい帯血バンクを介した非血縁者間移植は平成23年12月末に8千件を超えたところである。この移植は産後のさい帯と胎盤から造血幹細胞を含むさい帯血を採取するため、提供者 (ドナー) への負担がなく、保存が出来るため、必要とする患者に必要なときに移植できる等の利点を有している。

現在、さい帯血バンクの集約化も行われてきており、現在、10ある公的さい帯血バンクは平成24年度以降、8バンクとなる予定である。統合が行われる2つのさい帯血バンクが現在保存しているさい帯血は、他の公的さい帯血バンクに移管されることになっているため、さい帯血の供給に支障は生じないものと考えている。厚生労働省としては、事業移管がスムーズに行われるよう助言するとともに必要な支援を行っていくこととしている。

患者にとっては骨髄移植及び末梢血幹細胞移植と同様、さい帯血移植も重要な選択肢の一つであることから、各都道府県におかれては、一人でも多くの方にさい帯血移植の機会を提供できるようさい帯血移植の推進に御協力願いたい。

なお、さい帯血公開個数等の詳細については、日本さい帯血バンクネットワークホームページ (<http://www.j-cord.gr.jp>) を参照のこと。

3. その他連絡事項

臓器移植対策室関係行事予定

行 事 名	関 係	期 間	場 所
臓器移植普及推進月間	主催：厚生労働省 都道府県、(社)日本臓器移植ネットワーク 他	平成24年 10月1日～31日	全 国
第14回臓器移植推進 全国大会	主催：厚生労働省 開催都道府県他	平成24年 10月13日	高知県
骨髄バンク推進月間	主催：厚生労働省 都道府県、 保健所設置市、 特別区 (財)骨髄移植推進 財団 他	平成24年 10月1日～31日	全 国

参 考 资 料

参考資料目次

1. 平成24年度臓器移植対策室関係予算（案）の概要・・・・・・・・・・資－1
2. 臓器移植対策
 - (1) 改正法施行後の脳死下での臓器提供事例について（平成24年1月13日現在）・資－3
 - (2) 脳死下での臓器提供の実施状況について・・・・・・・・・・資－6
 - (3) 都道府県コーディネーター数と脳死下臓器提供可能施設数について・・・・・・・・資－7
 - (4) アイバンク別の献眼者数、利用眼数、待機患者数・・・・・・・・・・資－8
 - (5) 都道府県臓器移植連絡調整者設置事業の推進について（抄）・・・・資－9
 - (6) 臓器提供施設に対する支援策・・・・・・・・・・資－11
3. 造血幹細胞移植対策
 - (1) 日本におけるさい帯血保存・供給の状況・・・・・・・・・・資－13
 - (2) 都道府県別ドナー登録会開催状況等・・・・・・・・・・資－14
4. 臓器移植対策室所管特例民法法人一覧・・・・・・・・・・資－15

1 平成24年度臓器移植対策室関係予算(案)の概要

(単位:千円)

	平成23年度 予 算	平成24年度 予 算(案)	対 前 年 増△減額	主な増減要因
(項)移植医療推進費	2,532,345	2,483,627	△ 48,718	
移植対策費	39,790	34,901	△ 4,889	
移植対策事業費	2,492,555	2,448,726	△ 43,829	
(目)移植対策事業費補助金	2,492,555	2,448,726	△ 43,829	
骨髄データバンク登録費	679,427	665,476	△ 13,951	補助先:日本赤十字社(10/10)
さい帯血移植対策事業費	641,766	664,790	23,024	補助先:日本赤十字社(10/10) ・さい帯血保存管理業務費 631,849 ○増 さい帯血の採取及び検査体制の強化 466,460 ・さい帯血情報管理経費 30,840 ・さい帯血バンクネットワーク運営会議費 2,101
臓器移植対策事業費	719,374	664,929	△ 54,445	補助先:(社)日本臓器移植ネットワーク(1/2, 10/10) ・あっせん業務関係事業費 375,229 ○増 あっせん事業従事者の増員 274,081 ・あっせん事業体制整備費 262,312 ○改 ドナー家族に対する心理的ケアの充実 1,615 ・普及啓発事業費 17,382 ・運営管理費等経費 10,006
骨髄移植対策事業費	451,988	453,531	1,543	補助先:(財)骨髄移植推進財団(1/2, 10/10) ・あっせん業務関係事業費 355,069 ・あっせん事業体制整備費 15,441 ○増 検体保存事業の実施 8,945 ・普及啓発事業費 83,021
(目)保健衛生施設等設備整備費	-	-	-	<健康局総務課指導調査室計上> ・アイバンク設備 メニュー ・さい帯血バンク設備 ・組織バンク設備
臓器移植対策室合計	2,532,345	2,483,627	△ 48,718	

平成24年度移植対策関係予算（案）の概要

臓器移植対策室

1. 臓器移植対策 予算額（案） 前年度予算額
700百万円 (759百万円)

脳死下臓器提供事例が増加している中、臓器移植が適切に実施されるよう、あっせん業務に従事する者の増員やドナー家族への心理的ケアの充実等、あっせん業務体制の整備を図るとともに、移植医療への理解や臓器提供に係る意思表示の必要性について普及啓発に取り組む。

＜概要＞	千円	千円
(1) 臓器移植対策事業費（日本臓器移植ネットワーク）	664,929	(719,374)
・あっせん業務関係事業費	375,229	(393,080)
⑧ あっせん事業従事者の増員	274,081	(259,201)
・あっせん事業体制整備費	262,312	(298,906)
⑨ ドナー家族に対する心理的ケアの充実	1,615	(0)
・普及啓発事業費	17,382	(17,382)
・運営管理費等経費	10,006	(10,006)
(2) 移植対策費	34,901	(39,790)
(3) 保健衛生施設等設備整備費（健康局総務課計上） （アイバンク設備、組織バンク設備）		
(4) 医療提供体制施設整備交付金、医療提供体制推進事業費補助金（医政局指導課計上） （腎移植施設、HLA検査センター設備、肝移植施設）		

2. 造血幹細胞移植対策 1,784百万円 (1,773百万円)

骨髄バンク事業を引き続き推進するとともに、移植件数が増加しているさい帯血移植を着実に推進するため、さい帯血の採取・検査等に必要な経費を確保するなど、あっせん体制の整備を図る。

I. 骨髄移植等対策	1,119百万円	(1,131百万円)
＜概要＞	千円	千円
(1) 骨髄移植対策事業費（骨髄移植推進財団）	453,531	(451,988)
・あっせん業務関係事業費	355,069	(355,069)
・あっせん事業体制整備費	15,441	(13,900)
⑧ 検体保存事業の充実	8,945	(7,404)
・普及啓発事業費	83,021	(83,019)
(2) 骨髄データバンク登録費（日本赤十字社）	665,476	(679,427)
(3) 医療提供体制施設整備交付金（医政局指導課計上） （特殊病室施設）		
II. さい帯血移植対策	665百万円	(642百万円)
＜概要＞	千円	千円
(1) さい帯血移植対策事業費（日本赤十字社）	664,790	(641,766)
・さい帯血保存管理業務費	631,849	(612,557)
⑧ さい帯血の採取及び検査体制の強化	466,460	(434,640)
・さい帯血情報管理経費	30,840	(27,744)
・日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	2,101	(1,465)
(2) 保健衛生施設等設備整備費（健康局総務課計上） （さい帯血バンク設備）		

2 - (1) 改正法施行後の脳死下での臓器提供事例について(平成24年1月13日現在)

脳死判定事例(提供事例)	提供日	原疾患	提供施設	書面による意思表示	心臓	肺	肝臓	膵臓	腎臓	小腸	眼球	
1 第88例目(第87例目)	平成22年8月10日	20代 男性 交通外傷	関東甲信越	なし	国立循環器病研究センター	岡山大(両肺)	東大	-	藤田保健衛生大(膵腎同時)	群馬大	-	東京歯科大学市川総合病院 東京歯科大学市川総合病院
2 第89例目(第88例目)	平成22年8月19日	男性	近畿	なし	東大	阪大(両肺)	京大	-	名古屋第二赤十字(膵腎同時)	神戸大	-	-
3 第90例目(第89例目)	平成22年8月22日	50代 女性 脳血管障害	東海	なし	東北大	東北大(両肺)	阪大	-	名古屋第二赤十字(膵腎同時)	藤田保健衛生大	-	名古屋大 藤田保健衛生大
4 第91例目(第90例目)	平成22年8月27日	40代 女性 くも膜下出血	松山赤十字病院	あり	-	-	北海道大	-	東京女子医大(膵腎同時)	愛媛県立中央病院	-	愛媛大 愛媛大
5 第92例目(第91例目)	平成22年8月29日	40代 男性 蘇生後脳症	関東甲信越	なし	-	京大 京大	国立成育医療研究センター	京大	九州大(膵腎同時)	千葉大	東北大	東京歯科大学市川総合病院 東京歯科大学市川総合病院
6 第93例目(第92例目)	平成22年9月2日	40代 女性 くも膜下出血	北部九州	なし	国立循環器病研究センター	東北大(両肺)	名古屋大	-	東京女子医大	長崎医療センター	東北大	-
7 第94例目(第93例目)	平成22年9月4日	成人 男性 頭部外傷	東北	なし	東京女子医大	京大 岡山大	名古屋大	-	藤田保健衛生大	福島県立医大	九州大	-
8 第95例目(第94例目)	平成22年9月7日	成人 男性 蘇生後脳症	関東甲信越	なし	国立循環器病研究センター	-	北海道大	-	東京女子医大(膵腎同時)	長野赤十字	-	長野赤十字 長野赤十字
9 第96例目(第95例目)	平成22年9月12日	40代 男性 心疾患	市立札幌病院	なし	-	岡山大(両肺)	東大	-	藤田保健衛生大(膵腎同時)	市立札幌	-	-
10 第97例目(第96例目)	平成22年9月18日	30代 男性	近畿	なし	国立循環器病研究センター	-	京大 岡山大	-	阪大(膵腎同時)	近江八幡市立総合医療センター	-	-
11 第98例目(第97例目)	平成22年9月25日	70代 男性 脳幹梗塞	北部九州	なし	-	-	-	-	熊本赤十字	熊本赤十字	-	-
12 第99例目(第98例目)	平成22年9月27日	50代 男性 脳血管障害	北海道	なし	埼玉医科大学国際医療センター	福岡大 東北大	京大	-	北海道大	市立札幌	-	-
13 第100例目(第99例目)	平成22年9月30日	50代 女性 くも膜下出血	市立札幌病院	なし	阪大	東北大(両肺)	京大	-	東北大(膵腎同時)	札幌北楯	-	-
14 第101例目(第100例目)	平成22年9月30日	30代 男性 蘇生後脳症	東北大学病院	なし	国立循環器病研究センター	-	京大	-	阪大(膵腎同時)	仙台社会保険	-	東北大 東北大
15 第102例目(第101例目)	平成22年10月3日	70代 女性 脳出血	関東	なし	-	-	岡山大	-	東邦大医療センター大森病院	東京女子医大	-	-
16 第103例目(第102例目)	平成22年10月13日	18歳以上 男性 脳血管障害	西日本	なし	-	-	阪大	-	東京女子医大(膵腎同時)	日赤和歌山医療センター	-	-
17 第104例目(第103例目)	平成22年11月3日	30代 女性 くも膜下出血	九州大学病院	なし	阪大	岡山大(両肺)	広島大	-	藤田保健衛生大(膵腎同時)	福岡赤十字	-	-
18 第105例目(第104例目)	平成22年11月21日	50代 男性 脳血管疾患	高山赤十字病院	なし	東大	福岡大(左肺)	東大	-	静岡県立総合病院	岐阜大	-	岐阜大 眼科 杉田病院
19 第106例目(第105例目)	平成22年11月26日	60代 男性 低酸素脳症	福山市民病院	なし	阪大	岡山大(両肺)	-	-	県立広島	岡山医療センター	-	広島大 木村眼科 内科病院
20 第107例目(第106例目)	平成22年11月26日	60代 女性 脳血管障害	札幌医科大学付属病院	なし	-	東北大 長崎大	国立成育医療研究センター	-	東北大(膵腎同時)	市立札幌	-	-
21 第108例目(第107例目)	平成22年12月2日	40代 男性 脳血管障害	関東	なし	東大	京大(左肺)	-	順天堂大医学部附属順天堂医院	国立病院機構千葉東(膵腎同時)	東京女子医大	-	-
22 第109例目(第108例目)	平成22年12月4日	30代 女性 脳血管障害	九州大学病院	なし	阪大	福岡大 阪大	-	-	藤田保健衛生大(膵腎同時)	九州大	-	-
23 第110例目(第109例目)	平成22年12月10日	60代 女性 くも膜下出血	大阪市立総合医療センター	なし	-	-	岡山大	-	国立病院機構千葉東(膵腎同時)	大阪市立大	-	-
24 第111例目(第110例目)	平成22年12月13日	60代 女性 脳血管障害	国立病院機構長崎医療センター	なし	東大	-	広島大	-	九州大(膵腎同時)	長崎大	-	-
25 第112例目(第111例目)	平成22年12月17日	18歳以上 男性 脳血管障害	北海道	なし	-	-	信州大	-	-	-	-	北海道大 札幌医科大学
26 第113例目(第112例目)	平成22年12月18日	30代 男性 くも膜下出血	岐阜県総合医療センター	なし	東大	-	名古屋大	-	京都府立医科大	岐阜大	豊橋市民病院	-
27 第114例目(第113例目)	平成22年12月18日	30代 男性 脳血管障害	関東	なし	阪大	-	京大	-	香川大(膵腎同時)	北里大	-	-
28 第115例目(第114例目)	平成22年12月25日	成人 脳血管障害	藤田保健衛生大学病院	なし	九州大	京大(両肺)	阪大	-	東京女子医大(膵腎同時)	藤田保健衛生大	-	坂文種報徳會病院 坂文種報徳會病院
29 第116例目(第115例目)	平成22年12月29日	50代 男性 気管支喘息による低酸素脳症	大阪市立大学医学部附属病院	なし	東大	-	北海道大	-	千葉東(膵腎同時)	関西医科大学大附属枚方病院	-	福岡大 関西労災病院